

# トライボロジー遺産7号

## 学振形玉軸受寿命試験機 126 I-B型

JSPS type ball bearing life tester model 126 I-B

転がり軸受は、あらゆる機械において使われる極めて重要な機械要素である。回転部の支持に使われるため、その機械の寿命にも影響することから、軸受の寿命を長くするための研究開発が軸受各社を中心に絶え間なく行なわれている。

軸受各社で行なわれている製品開発とは別に、軸受の寿命に係る研究を産学官で取り組むため、昭和34年に日本学術振興会「転り軸受寿命第126委員会」が設立された。同委員会の目的は「転がり軸受の寿命延長を目的とした軸受ならびに軸受材料の研究を行なう」ことであり、平成17年までの46年間活動し、その後日本トライボロジー学会の第2種研究会に引き継がれている。

本試験機は、第126委員会の活動の中で、軸受寿命を正確に求めることを目的として、機械技術研究所(現在の産業技術総合研究所)が中心となって開発した基準試験機である。試験軸受の取り付け、荷重の精度とその変動防止などの優れた特長をもっており、ベッド剛性が高いなど、寿命試験を高い精度で行なうことが可能である。本試験機は、同委員会関係各社で現用しているSPS-126 I-C型試験機のプロトタイプで、長期的に寿命試験を行なっており、軸受寿命に及ぼす各種パラメータの影響など貴重なデータが蓄積されている。



《写真提供：産業技術総合研究所》

### 公開情報 学振型玉軸受寿命試験機

公開場所：独立行政法人 産業技術総合研究所 つくば東事業所

開館時間：10:00-16:30

入場料：無料

休館日：土曜・日曜・祝日・年末年始

住所：〒305-8564 茨城県つくば市並木一丁目2番地1

電話番号：029-861-7145

HPアドレス：<http://www.tribology-jp.com/>

交通機関：関東鉄道バス「産技総合研筑波東事業所つくば研究支援センター入口」下車徒歩2分

